



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 都築電気株式会社  
 コード番号 8157 URL <http://www.tsuzuki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江森 勲  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理統括部長 (氏名) 石丸 雅彦  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6833-7704

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	73,152	3.4	3		102		38	
29年3月期第3四半期	70,717	0.8	106		3		114	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 490百万円 (25.5%) 29年3月期第3四半期 390百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	2.53	
29年3月期第3四半期	9.25	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	66,524	26,394	39.7	1,546.41
29年3月期	71,068	24,059	33.9	1,625.60

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 26,394百万円 29年3月期 24,059百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.50		10.50	18.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,500	0.3	2,400	12.0	2,500	11.6	1,400	5.9	88.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	24,677,894 株	29年3月期	25,677,894 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	7,609,314 株	29年3月期	10,877,704 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	15,328,827 株	29年3月期3Q	12,402,428 株

自己株式については、従業員持株ESOP信託口が保有する当社株式(30年3月期3Q 337,100株、29年3月期 405,800株)、株式付与ESOP信託口が保有する当社株式(30年3月期3Q 483,400株)及び役員報酬BIP信託口が保有する当社株式(30年3月期3Q 300,200株)を含めて記載しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の持ち直しや底堅い内外需を背景に企業収益が改善するなど緩やかな回復基調を維持しております。しかし、中国を始めアジア新興国等の経済の先行きに加えて、朝鮮半島情勢の問題により海外動向に対する警戒感は依然根強く、不透明な状況が続いております。

情報ネットワークサービス産業においては、今後の人口減少や少子高齢化による労働力不足を補うための生産性向上・業務効率化を目的とした、IoT(※1)、AI(※2)、RPA(※3)等のICT技術の利活用が期待されております。

このような環境のもと、当社グループはこれらのニーズを捉えるべく、各社それぞれの強みを生かした各種ソリューションサービスを提供すること、ならびにその基本となるシステム開発・システム運用に係る品質向上を目的とした人材育成および研究開発等将来に向けた投資を引き続き積極的に行いました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高731億52百万円(前年同期比3.4%増)を計上し、営業利益3百万円(前年同期は1億6百万円の損失)、経常利益1億2百万円(前年同期は3百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失38百万円(前年同期は1億14百万円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ※1 IoT

Internet of Things (モノのインターネット)

## ※2 AI

Artificial Intelligence (人工知能)

## ※3 RPA

Robotic Process Automation (ロボットによる業務の自動化)

## 情報ネットワークソリューションサービス

ネットワークインテグレーションは、ネットワークインフラ(LAN/WAN)やコールセンター等のシステム構築ビジネスに取り組みましたが、センターサーバ化やモバイル化が影響し、また、インフラ構築案件も売上時期が延伸し、低調に終わりました。

一方、システムインテグレーションは、クラウド系システム構築が堅調に推移いたしました。

また、サービスビジネスも、システム運用サービス、LCMサービス、クラウド化を切り口としたデータセンターサービス等のビジネス拡大を図ったことにより堅調に推移いたしました。

業種別では公共、鉄道、産業、自動車、金融等のお客さま向けにインフラ構築商談や運用サービスを中心に推進いたしました。また、流通、製造、食品等のお客さま向けにはアプリケーション開発を中心としたソリューションビジネスおよびサービスビジネス商談を推進いたしました。さらに、新たな取り組みとしてIoTビジネスやRPAビジネス、RFID(※)ビジネスに取り組みました。

しかし、全般的には付加価値の高い商談等の売上が延伸したことにより、当初の予想数値を下回ることとなりました。

この結果、情報ネットワークソリューションサービスは売上高519億69百万円(前年同期比1.8%減)、営業損失83百万円(前年同期は46百万円の損失)となりました。

## ※ RFID

Radio Frequency Identification (RFIDタグ媒体のデータを非接触で読み書きするシステム)

## 電子デバイス

半導体ビジネスは、中国の設備投資需要が継続し、FA機器向けカスタムLSI・リレーが好調に推移いたしました。国内では車載・空調機器向けデバイス、海外では車載情報端末向け液晶パネルや電源向けパワー半導体等が好調に推移いたしました。

情報機器ビジネスは、組込サーバ機器やPC周辺機器を中心に順調に推移いたしました。また、海外を含むメモリストレージ製品(HDD/SSD等)も順調に推移いたしました。メディカル関連やIoT市場への取り組みを含め、新商材やソリューションの強化を図っています。

この結果、電子デバイスは売上高211億83百万円(前年同期比19.0%増)、営業利益78百万円(前年同期は67百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末と比較して45億44百万円減少し、665億24百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の減少52億21百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して68億79百万円減少し、401億29百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少28億99百万円や借入金の減少(純額)26億10百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して23億35百万円増加し、263億94百万円となり、自己資本比率は39.7%(前連結会計年度末は33.9%)となりました。この主な要因は、自己株式の処分等による自己株式の減少額23億31百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,610	12,506
受取手形及び売掛金	28,030	22,808
たな卸資産	7,038	10,115
繰延税金資産	1,131	1,172
未収還付法人税等	2	—
その他	1,418	2,045
貸倒引当金	△128	△129
流動資産合計	55,103	48,517
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,556	1,622
減価償却累計額	△823	△827
建物及び構築物 (純額)	732	795
機械装置及び運搬具	9	7
減価償却累計額	△5	△4
機械装置及び運搬具 (純額)	3	2
土地	2,223	2,222
リース資産	2,231	2,714
減価償却累計額	△774	△875
リース資産 (純額)	1,456	1,839
建設仮勘定	870	2,108
その他	676	798
減価償却累計額	△579	△697
その他 (純額)	97	101
有形固定資産合計	5,384	7,070
無形固定資産		
リース資産	653	561
その他	1,005	914
無形固定資産合計	1,658	1,476
投資その他の資産		
投資有価証券	4,901	5,670
長期貸付金	100	97
繰延税金資産	2,419	2,202
長期預金	300	300
その他	1,569	1,559
貸倒引当金	△369	△370
投資その他の資産合計	8,921	9,459
固定資産合計	15,965	18,006
資産合計	71,068	66,524

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,683	14,784
短期借入金	5,794	6,149
1年内返済予定の長期借入金	87	960
リース債務	753	764
未払法人税等	649	190
賞与引当金	2,486	1,145
受注損失引当金	363	30
その他	3,844	4,528
流動負債合計	31,663	28,553
固定負債		
長期借入金	7,951	4,113
リース債務	1,556	1,815
繰延税金負債	7	11
退職給付に係る負債	5,698	5,519
長期未払金	110	65
その他	21	50
固定負債合計	15,345	11,575
負債合計	47,009	40,129
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,812	9,812
資本剰余金	3,274	3,100
利益剰余金	17,084	16,734
自己株式	△8,223	△5,891
株主資本合計	21,949	23,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,256	1,766
為替換算調整勘定	40	58
退職給付に係る調整累計額	812	814
その他の包括利益累計額合計	2,109	2,639
純資産合計	24,059	26,394
負債純資産合計	71,068	66,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	70,717	73,152
売上原価	58,807	60,867
売上総利益	11,910	12,285
販売費及び一般管理費	12,016	12,281
営業利益又は営業損失(△)	△106	3
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	79	94
受取保険金	—	33
保険配当金	89	107
為替差益	20	—
その他	95	74
営業外収益合計	293	318
営業外費用		
支払利息	93	100
支払手数料	39	25
為替差損	—	4
その他	58	89
営業外費用合計	191	219
経常利益又は経常損失(△)	△3	102
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	2	45
特別利益合計	2	45
特別損失		
固定資産除却損	—	8
固定資産売却損	0	—
特別退職金	137	60
特別損失合計	137	69
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△139	79
法人税等	△24	118
四半期純損失(△)	△114	△38
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△114	△38



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△114	△38
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	479	509
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	5	17
退職給付に係る調整額	20	1
その他の包括利益合計	505	529
四半期包括利益	390	490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	390	490
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(第三者割当による自己株式の処分)

平成29年10月27日開催の取締役会決議に基づき、平成29年11月24日付で、株式会社麻生から第三者割当による自己株式処分の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が4億37百万円増加し、自己株式が16億87百万円減少しております。

(第三者割当による自己株式の処分及び取得)

平成29年10月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の処分を行い、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託の導入により、平成29年11月28日付で、日本マスタートラスト信託銀行株式会社が当社株式の取得を行いました。信託に残存する当社株式は自己株式として計上しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ1億55百万円増加しております。

(自己株式の消却)

平成29年10月27日開催の取締役会決議に基づき、平成29年11月30日付で、自己株式1,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ7億67百万円減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報ネットワーク ソリューションサ ービス	電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	52,919	17,798	70,717	—	70,717
セグメント間の内部売上高又は振替高	34	273	308	△308	—
計	52,953	18,072	71,026	△308	70,717
セグメント損失(△)	△46	△67	△113	7	△106

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報ネットワーク ソリューションサ ービス	電子デバイス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	51,969	21,183	73,152	—	73,152
セグメント間の内部売上高又は振替高	121	185	306	△306	—
計	52,090	21,369	73,459	△306	73,152
セグメント利益又は損失(△)	△83	78	△4	7	3

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。